



「世界で最も美しい湾クラブ」加盟記念

日本海学シンポジウム

「つながる海

—世界の海から日本海、そして富山湾—

平成27年2月14日(土) 13:30~16:40

入場無料

北日本新聞ホール 富山市安住町 2-14

—— 基調講演 ——

「アジア、世界の湾の現状と富山湾の可能性」

講師／秋道 智彌 (総合地球環境学研究所名誉教授)

—— パネルディスカッション ——

「富山湾の魅力とその可能性を考える」

コーディネーター／秋道 智彌

パネリスト／寺島 紘士 佐藤安紀子 稲村 修

(海洋政策研究財団常務理事)

(NPO海のくに・日本編集長)

(魚津水族館館長)

「世界で最も美しい湾クラブ」加盟記念

日本海学 シンポジウム

「つながる海

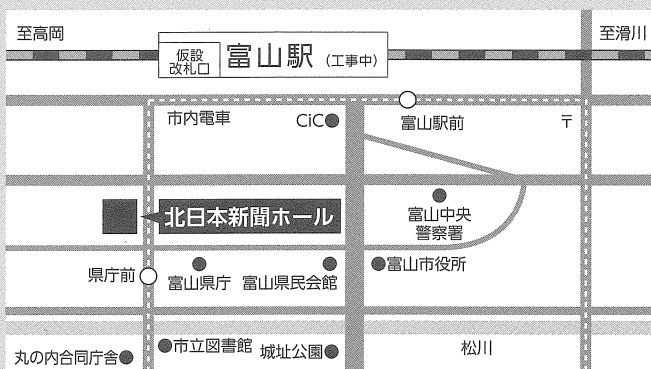
—世界の海から日本海、そして富山湾—

平成27年2月14日(土)

13:30~16:40 **入場無料**

北日本新聞ホール 富山市安住町 2-14

主催/富山県・日本海学推進機構 後援/北日本新聞社



※なるべく公共交通機関をご利用ください。
※富山駅より徒歩10分、または市内電車「県庁前」電停より徒歩1分

お問い合わせ・お申し込み

氏名、住所、郵便番号、電話番号を明示のうえ、ハガキ、電話、FAX
またはE-mailで下記へお申し込みください。

日本海学推進機構

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7(富山県国際・日本海政策課内)

TEL076-444-3339/FAX076-444-8694

E-mail adm@nihonkaigaku.org

日本海学とは

日本海とその周辺および関連地域全体を、生命の源である海を共有する一つの
まとまりとしてとらえ、海との関わりを軸にその自然・文化・歴史・経済などを総合
的に研究し、新たな領域を創成するとともに、地域間の交流を促進し生命の輝き
が増す未来を構想する取り組みです。

ホームページ <http://www.nihonkaigaku.org/>

基調講演(13:40~14:30)

「アジア、世界の湾の現状と富山湾の可能性」

講師/秋道 智彌(総合地球環境学研究所名誉教授、生態人類学)

1946年京都府京都市生まれ。京都大学理学部動物学科卒業、東
京大学大学院理学系研究科人類学専攻博士課程修了。国立民族
学博物館民族文化研究部長、総合地球環境学研究所教授、副所
長、研究推進戦略センター長を経て現職。専門は、生態人類学、海
洋民族学、民族生物学。地域に根ざした文化から地球規模の環境
問題まで、多角的な視点から自然と人間のあり様を調査・研究。近著
としては、『 commonsの地球史—グローバル化時代の共有論に向けて—』(岩波書店)、
『海に生きる 海人の民俗学』(東京大学出版会)、『日本の環境思想の基層』(岩波書
店)、『日本のcommons思想』(岩波書店)ほか多数。



パネルディスカッション(14:50~16:40)

「富山湾の魅力とその可能性を考える」

コーディネーター/秋道 智彌(総合地球環境学研究所名誉教授、生態人類学)

パネリスト/寺島 紘士(海洋政策研究財団常務理事)

1941年長野県上田市生まれ。東京大学法学部卒業。1965年運輸省
(現国土交通省)入省。海運、離島航路、フェリー、海上安全、油濁問
題、物流、海洋調査、海上保安などの業務に携わる。中部運輸局長、大
臣官房審議官を歴任。1994年日本財団常務理事、2002年シップ・ア
ンド・オーシャン財団海洋政策研究所長、2005年から海洋政策研究財
団常務理事。海洋・沿岸域の問題に総合的に取り組む海洋政策提言をまとめ、超党派の
政治家・有識者による海洋基本法研究会の事務局長を務めて海洋基本法の制定に尽
力。海洋白書の編集・執筆のほか、『海洋政策が海洋空間の秩序形成に及ぼす作用』(東
信堂)『海洋問題入門』(丸善)など著作論文多数。



パネリスト/佐藤安紀子(NPO海のくに・日本編集長)

東京都生まれ。武蔵大学卒業。出版社に勤務。1993年の「ウーマンズ
フォーラム魚」発足時より事務局を担当し「資源としての海と魚の大切
さ」を伝える消費者運動を推進する。「海の生命をいただいで生きている」
ことを子ども達に伝える「海彦クラブ」活動、全国6800の離島を学ぶ「わ
れは海の子」を推進中。2010年発足の「NPO海のくに・日本」では編集
長を務め、数千年にわたって培われて来た多彩な漁業や豊かな魚食文化、日本の各地域で
育まれた郷土色豊かな漁村文化を、日本の未来を担う子どもたちに伝える活動に取り組ん
でいる。2014年より「水産ジャーナリストの会」事務局長を務めている。



パネリスト/稲村 修(魚津水族館館長)

1957年富山県入善町生まれ。東海大学海洋学部水産学科卒業。
1880年より魚津水族館に勤務。2007年からは北海道大学大学院環
境科学院で学ぶ。博士(環境科学)。2011年より魚津水族館館長。専
門は、魚類学、環境科学。魚津水族館では、富山に生息する魚介類の
紹介を基本に、来館者が水族館をきっかけとして、自然や魚食との接点
づくりとなるように心がけている。著書として、『富山の川と湖の魚たち』(共著)、『富山のさか
な』(監修)、『ほたるいかのななし』など多数。



日本海学シンポジウム 参加申込書 (FAX、郵便でお申し込みの場合にご利用ください。)

FAX 076-444-8694

ふりがな 氏名	代表者 住所
ふりがな 氏名	
ふりがな 氏名	電話

※聴講券は配布いたしませんので、申し込まれた方は当日直接会場にお越しください。